

# ext.

[イクスト]

## 取扱説明書

ご使用前にこの説明書を必ずお読みください。  
また、必要なときにいつでも見られるところに保管してください。

製品コード	製品名
8SXTSC	スイッチチェア



1. 安全にお使いいただくために.....	1 P
2. 末永くお使いいただくために.....	1 P
3. 各部の名称.....	1 P
4. ご使用方法.....	2 P
5. お手入れ方法 .....	4 P
6. 仕様 .....	5 P

# はじめに

このたびはオカムラ製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。  
納品書や領収書など購入履歴が分かるものを大切に保管してください。  
また、この説明書の内容をよく理解されたうえでご使用ください。

## 危害レベルについての説明

この説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、危害・損害の程度を表示しています。



**注意**

誤った取扱いをすると、傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定されます。

## 図記号についての説明

この説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしております。その表示と意味は次のようになっています。



注意マークは、警告や注意をうながしていることを表しています。

## 注意喚起ラベルについての説明

この製品には注意喚起ラベルが貼ってありますので、注意事項を守ってご使用ください。  
ラベルは絶対に破ったり、傷つけたり、字を消したり、剥がしたりしないでください。

### ラベルの貼り付け場所

スイッチチェア：脚フレーム



# 1. 安全にお使いいただくために

下記の安全上の注意をお守りいただけない場合、傷害を負う可能性があります。  
お客様の安全のため、性質を理解した上で、正しくご使用ください。

## ⚠ 注意



製品の破損によるケガの恐れがありますので、以下のことがらにご注意ください。

- 乱暴な取扱いや用途以外のご使用は避けてください。
- ボルトやねじが緩んだ状態や部品が外れた状態、故障した状態で使用しないでください。
- 分解・修理・改造はしないでください。



落下によるケガの恐れがありますので、以下のことがらにご注意ください。

- 製品を踏み台がわりにしないでください。
- 座面には立たないでください。



指はさみによるケガの恐れがありますので、以下のことがらにご注意ください。

- スキマや可動部には手や指を入れないでください。

# 2. 未永くお使いいただくために

下記の取扱い上の注意をお守りいただけない場合、故障等による損害や不具合が発生する恐れがあります。  
また、その場合の責任は弊社としては負いかねます。

## 取扱い上の注意

変形などの原因となるので、設置の際は以下のことがらにご注意ください。

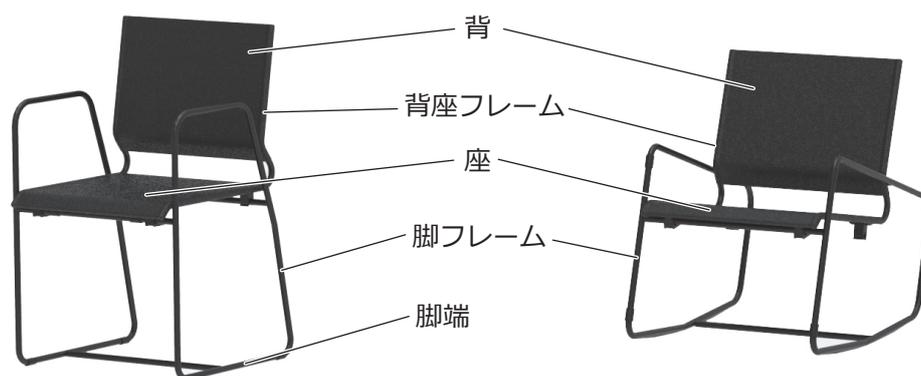
- 変形や日焼けによる変色の原因になるので、直射日光の当たる場所は避けてください。窓際などへ設置する場合は、常にカーテンやブラインドなどで直射日光を遮るようにしてください。
- 変形や変色の原因になるので、ストーブややかんなど、熱を発するものを近づけないでください。
- 反り・カビ・錆の発生などの原因となるので、屋外では使用しないでください。屋内で使用してください。
- 反り・カビ・錆の発生などの原因となるので、水のかかるところ等では使用しないでください。
- 変形や変色、カビの原因になるので、室内が著しく高温多湿となる場合（温度28℃、相対湿度50%超が目安）には、窓を閉め切らないようにしてください。

# 3. 各部の名称

## スイッチチェア

チェア

ロッキングチェア



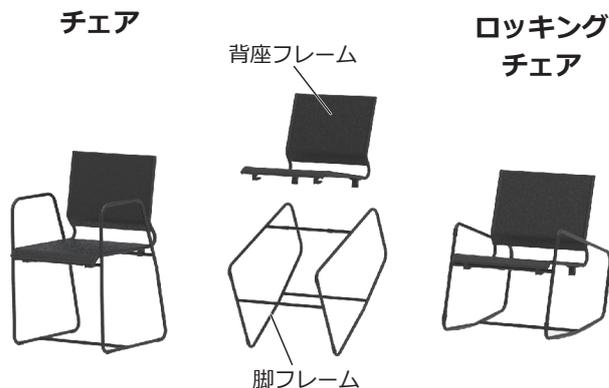
## 4. ご使用方法

### チェア / ロッキングチェアの切り替え

スイッチチェアは脚フレームの向きを変えることでチェアとロッキングチェアとに切り替えて使うことができます。

#### ⚠ 注意

- ロッキングチェア時は揺れますので、ゆっくり座ってください。
- 背座フレームと脚フレームがしっかりと固定されていることを確認してから使用してください。固定されていない状態で使用すると背座フレームが外れ、破損やケガにつながる恐れがあります。



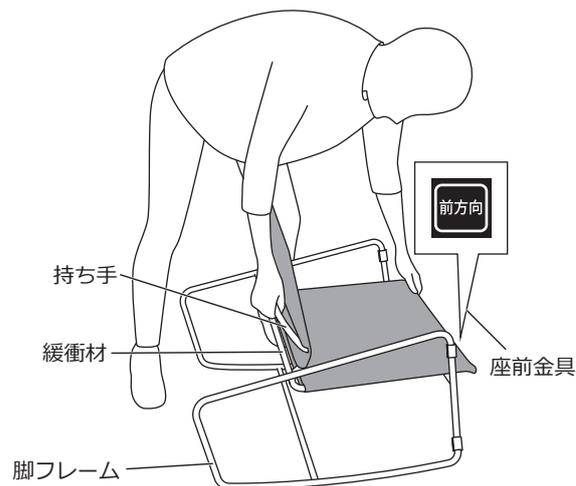
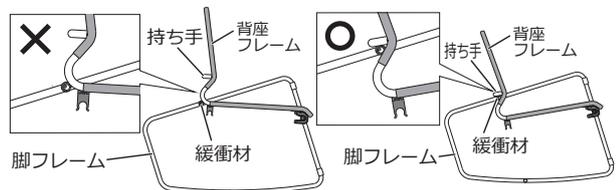
### ロッキングチェアの取り付け / 取り外し

#### 取り付け方法

- ① 脚フレームは曲線部分が床に接するように置きます。「前方向」のラベルが貼ってあるパイプに座前金具を引っ掛け、緩衝材が付いているパイプに持ち手が乗るようにセットしてください。

#### ⚠ 注意

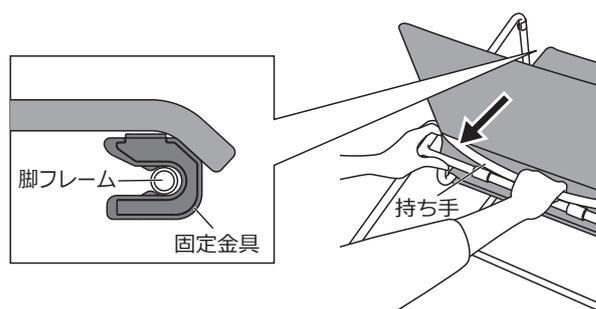
持ち手が浮いている状態は間違いです。必ず持ち手が緩衝材に接していることを確認してください。間違った状態では背座フレームが固定されません。



- ② 脚フレームが動かないように抑えながら、座前金具が脚フレームにはまるまで背座フレームの持ち手を引いてください。このとき、片側ずつ引くと座前金具がはまりやすいです。

#### ⚠ 注意

スキマには手や指を入れないでください。

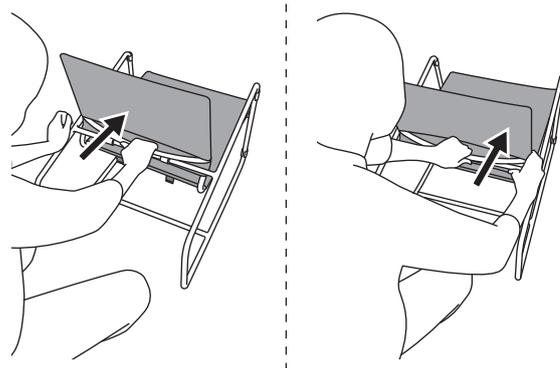


#### 取り外し方法

- ① ロッキングチェアを分解するには逆の手順で背座フレームを取り外します。背座フレームの持ち手を持ちながら脚フレームから座前金具が外れるように背座フレームを前方へ押しってください。このとき、片側ずつ押しと座前金具が外れやすいです。

#### ⚠ 注意

スキマには手や指を入れないでください。



## 4. ご使用方法（続き）

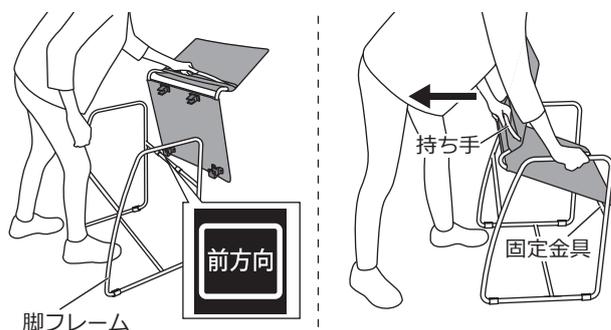
### チェアの取り付け / 取り外し

#### 取り付け方法

- ① 脚端が付いている方が床に接するように脚フレームを置きます。  
「前方向」のラベルが貼ってあるパイプに座前金具を引っ掛けるようにセットしてください。

#### ⚠ 注意

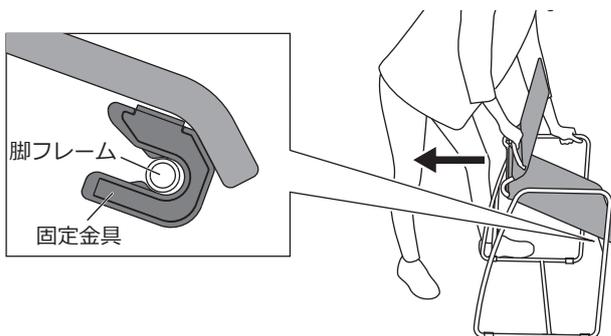
向きを確認して取り付けてください。逆向きに取り付けると着座時に転倒する恐れがあります。



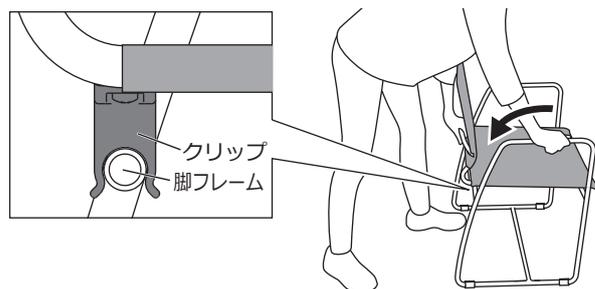
- ② 脚フレームが動かないように抑えながら、座前金具がはまるまで背座フレームの持ち手を引いてください。このとき、片側ずつ引くとはめやすいです。

#### ⚠ 注意

スキマには手や指を入れないでください。

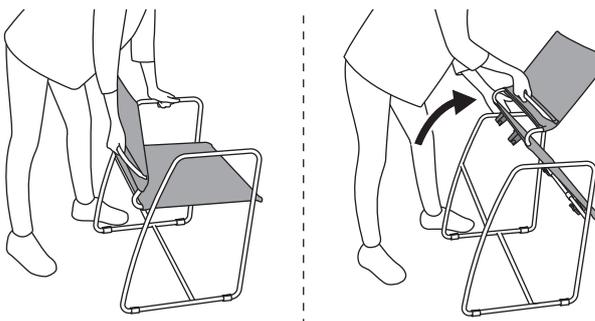


- ③ そのまま持ち手を持ちながら背座フレームを下ろし、クリップを取り付けてください。クリップがしっかりと脚フレームに付いたことを確認してください。



#### 取り外し方法

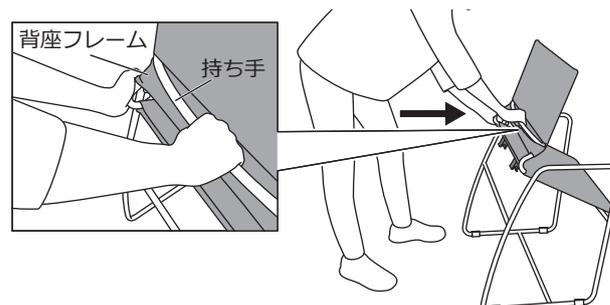
- ① チェアを分解するには逆の手順で背座フレームを取り外します。  
脚フレームを抑えながら背座フレームの持ち手を持って引き上げるようにクリップを外してください。



- ② 背座フレームの持ち手を持ちながら脚フレームから座前金具が外れるように背座フレームを前方へ押しってください。このとき、片側ずつ押しと座前金具が外れやすいです。

#### ⚠ 注意

スキマには手や指を入れないでください。



## 5. お手入れ方法

---

### 日常のお手入れ

---

#### 布部

- 布地を傷めないように柔らかいブラシでのブラッシングや表面を軽くはたくか、掃除機でほこりを吸い取ってください。
- 長期間のご使用で付着した手垢（皮脂）などの汚れには、薄めた中性洗剤溶液を柔らかい布に浸して固く絞って拭いてください。洗剤が残らないように水拭きで取り除き、さらにはから拭きして乾燥させてください。
- アルカリ電解水を使用し汚れを除去する場合は、汚れに直接吹き掛け、布地を傷めないように柔らかいブラシで軽くブラッシングし、水分と汚れを拭き取った後、しばらく乾燥させてください。
- 油性のシミがついた場合は、速やかに、ベンジン等の専用のシミ抜き剤をつけ、軽く叩きながら、汚れを落とすようにしてください。最後に、固く絞った柔らかい布で水拭きをし、さらにはから拭きをして乾燥させてください。素材によっては、汚れが落ちない場合があります。

#### ご注意ください

- 水分が付いたまま放置したり、シンナー、ベンジン等の有機溶剤、化学クロス等でのお手入れは行わないでください。万が一、変色したり、風合いが変わってしまった場合は、元には戻りませんのでご注意ください。
- 次亜塩素酸水は使用しないでください。表面が変色したり風合いが変わってしまう場合があります。

#### アルミ部・スチール部

- きれいな乾いた柔らかい布で、から拭きをしてください。
- 水分が付着した場合は、すぐに拭き取ってください。
- 埃や指紋（皮脂）は、放置せずに拭き取ってください。

#### 樹脂部

- 固く絞った柔らかい布で水拭きをしてください。
- 汚れが目立つ場合は、薄めた中性洗剤溶液を柔らかい布に浸して絞ってから、拭き取ってください。洗剤が残らないように水拭きで取り除き、さらにはから拭きをして乾燥させてください。

#### ご注意ください

- 強く擦らないでください。艶上りが発生し、色味が変化します。汚れが落ちない場合は、手指消毒用アルコール剤を柔らかい布にしみこませ、拭きあげてください。
- アルカリ、酸性の洗浄剤は使用しないでください。
- 天板面を拭く際に洗浄剤が、化粧板（メラミン化粧板など）と縁材のすき間に染み込まないようにしてください。

### 定期的なメンテナンスのお願い

---

- 使用中にボルトやねじのゆるみによるガタツキが生じた時は、増し締めしていただくのが長持ちさせる秘訣です。そのまま放置せず、早めの増し締めをしてください。

## 5. お手入れ方法（続き）

### アフターメンテナンス

- 弊社では製品を長くお使いいただけるよう、定期的なメンテナンスやクリーニングを承っております。修理については(株)オカムラサポートアンドサービスまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 保証期間中の製品不具合については、無償にて対応させていただきます。保証する項目については裏表紙の保証の明細をご確認ください。
- 保証期間終了後も、修理により機能が維持できる場合は、有料にて修理を承っております。
- お問い合わせの際に必要な製品コードや製造ロット等は、この製品に貼ってある製品コードラベルに記載されています。ラベルは絶対に破ったり、傷つけたり、字を消したり、剥がしたりしないでください。

#### 製品コードラベルの貼り付け場所

スイッチチェア：脚フレーム中央



## 6. 仕様

### 寸法

製品名	製品コード	外形図	幅 (mm)	奥行き (mm)	高さ (mm)	座面高さ (mm)
スイッチチェア	8SXTSC		483	505	815	435
			483	728	660	350

### 主な材質と表面加工

部位		材質	表面加工	
構造部材	背座フレーム、脚フレーム	金属（鋼）	ポリエステル樹脂塗装	
	脚端、緩衝材	ポリエチレン	—	
	座面金具	本体	金属（鋼）	ポリエステル樹脂塗装
		カバー	ナイロン	—
	クリップ	ナイロン	—	
張り材	背、座	ナイロン	—	

製品の仕様については、改良のため予告なく変更を行なう場合もありますのでご了承ください。

# 保証の明細

家具の無償保証は、通常の補修（メンテナンス）が行われていることが前提となります。保証期間中の製品不具合については、部品の交換等の修理にて対応させていただきます。

## 保証する項目について

保証期間は、一般社団法人日本オフィス家具協会（JOIFA）の「オフィス家具-製品安全基準のガイドライン」に基づいております。一般のオフィスにおいて、通常の執務状態（1日8時間程度）で使用した場合を想定して定められたものです。保証期間は、購入日から起算して項目ごとに下表の通りです。

項目	内容	保証期間
外観・表面仕上げ	塗装及び樹脂部品の変色・褪色、レザー・クロスの摩耗	1年
機構部・可動部	引出し・スライド機構、扉の開閉、錠前、昇降機構等の故障	2年
構造体	強度・構造体にかかわる破損	3年

保証期間内でも、次の場合は有料となります。

- ・購入履歴（購入年月日・購入者名・販売店名）の提示がない
- ・中古品・譲渡品・個人売買品
- ・製品コードラベルの剥離、汚損などにより、製品コードや製造ロット等の識別ができない
- ・弊社に責のない外部要因（天災地変・火災・異常電圧等）に起因する故障及び破損
- ・日本国以外で使用する場合（公海上を含む）
- ・24時間・年中無休での業務や、これに準ずる過酷な使われ方をする所（消防・警察・鉄道・各業種の監視室・警備室・新聞社・TV局・学生寮・病院等）で使用している
- ・高温・多湿・著しい温度変化がある場所等異常な環境下で使用・保管している
- ・設置後の移動やお客様の運搬による故障及び破損
- ・弊社発行の説明書に従って組み立てられていない
- ・弊社発行の取扱説明書に従って使用されていない
- ・使用方法において、お客様の過失が認められる
- ・可動部の動作音（椅子のリクライニング等）
- ・消耗品（キャスター・脚端・フェルト・肘パッド・電球・電池・バッテリー等）
- ・使用時の手垢・埃等の汚れによる仕上げ表面の変化
- ・通常使用により生じる異音・変形・キズ・錆・カビや、接触や摩耗による変色・褪色等
- ・天然材料（木・革・その他）における色目、木目・節・しわ・傷等の質感の違い
- ・表面素材（張地・樹脂・塗装・その他）における色目・縫い・光沢等の質感の違い

## 修理部品の供給期間について

修理部品は製品の製造中止後5年間保有しております。但し、単一部材で構成される製品や、適正な価格・納期でお客様に供給できない部品は、除外させていただきますのでご了承ください。

## JOIFA 標準使用期間について

日本オフィス家具協会（JOIFA）では、消費生活用製品安全法の主旨に合わせ、一定の使用条件で、安全上支障なく、ご使用できる期間として、自主的に『JOIFA標準使用期間』を設定しました。

この期間は、注意を喚起することが目的で、製品の無償保証期間ではありません。通常、JOIFA標準使用期間を過ぎると摩耗や経年変化による故障が増大することが考えられます。

その場合には、点検・整備や部品交換で継続使用していただくか、ご使用に耐えない場合には買い替えをお勧めさせていただく場合もあります。

詳しくは、日本オフィス家具協会（JOIFA）ホームページをご覧ください。

<https://www.joifa.or.jp>

## 製品の廃棄について

不要となった製品の廃棄は、法令によりお客様が適切に処理する責任があります。廃棄の際は、法令に従った適切な廃棄処理をお願いします。廃棄に関するご質問は、管轄する地方自治体にお問い合わせください。

<b>OKamura</b> 株式会社オカムラ 横浜市西区北幸 1-4-1 天理ビル <a href="https://okamura.co.jp">https://okamura.co.jp</a>	<b>修理に関するご用命は</b> <b>オカムラサポートアンドサービス</b> フリーダイヤル ☎ 0120-448-105 受付時間 24 時間受付（無休）	<b>製品に関するご質問は</b> <b>お客様相談室</b> フリーダイヤル ☎ 0120-81-9060 受付時間 9:00-17:00（土・日・祝日を除く）
	お問い合わせの際、あらかじめ製品コードをご確認いただくと、ご案内がスムーズです。	